

浅間山周辺の地殻変動*

Crustal Deformations around Asama Volcano

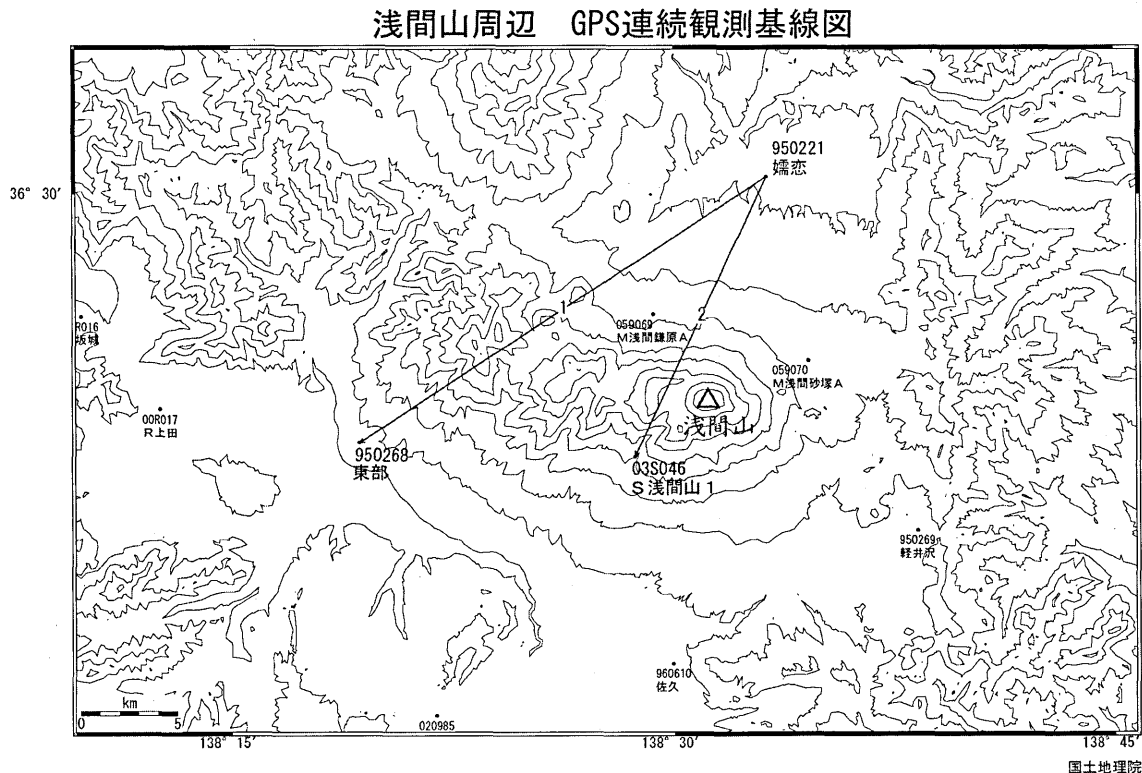
国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図(a)-(c)は、浅間山周辺のGPS連続観測結果である。浅間山をまたぐ位置関係にある嬬恋と東部間の基線(第1図(b))では、1996年4月に観測が開始されて以来、短縮と停滞を繰り返している。この伸張と浅間山の地震活動の活発化の間には、相関があることが知られている¹⁾。最近の動きは次の通りである。2004年4月頃から伸張傾向がみられ、2004年9月1日の噴火を迎えた。その後も伸びは1年近く続いたが、2005年10月頃に、そのピークに達し、その後は短縮が続いている。2006年に入ってから、短縮の傾向に緩急はあるが収縮しつづけている。第1図(c)は浅間山を挟む2つの基線の最近の距離変化時系列であるが、両方の基線とも同様の変化を見せており、これらの変動が共通の力源の動向を反映しているものであることを示唆している。

【参考文献】

- 1) 村上亮 (2005) GPS 連続観測結果が示唆する浅間火山のマグマ供給系, 火山, 50, 5, pp. 347-361.



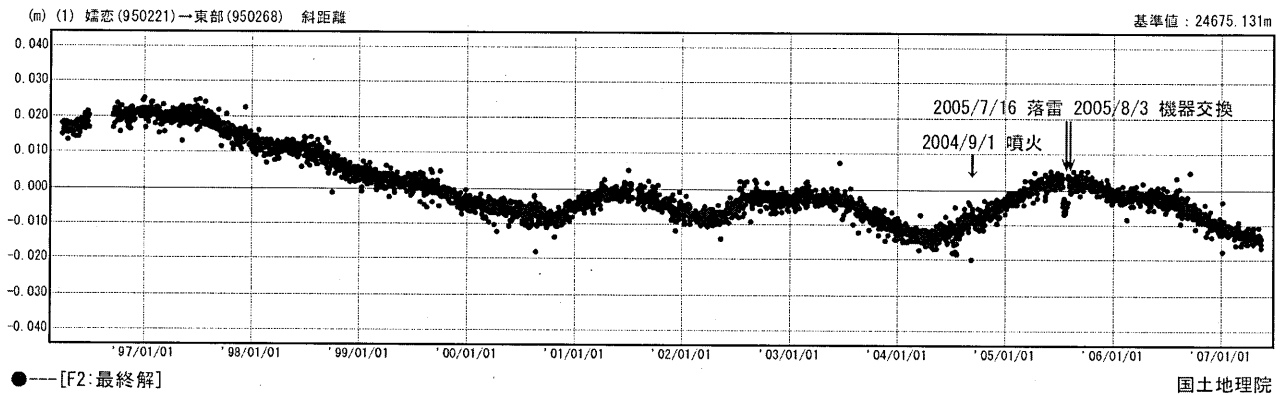
第1図 (a) GPS 連続観測点配置図

Fig. 1 (a) Site location map of the GPS permanent continuous measurements network

* 2007 年 12 月 19 日受付

基線変化グラフ（全期間の変動）

期間：1996/04/01～2007/05/19 JST

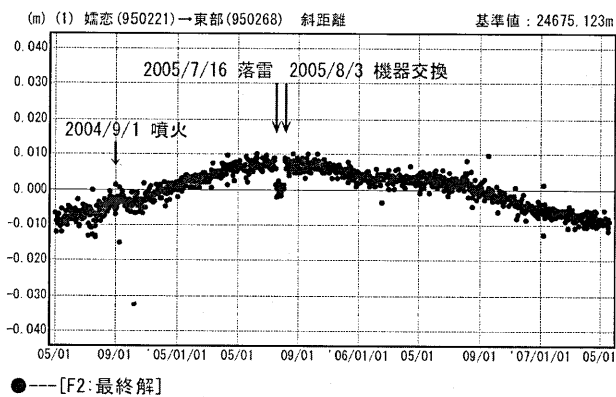


第 1 図 (b) 基線変化グラフ（嬬恋→東部）1996 年 4 月～2007 年 5 月

Fig. 1 (b) Distance change time series of the baseline between 950221 and 950268 during April 1996 to May 2007.

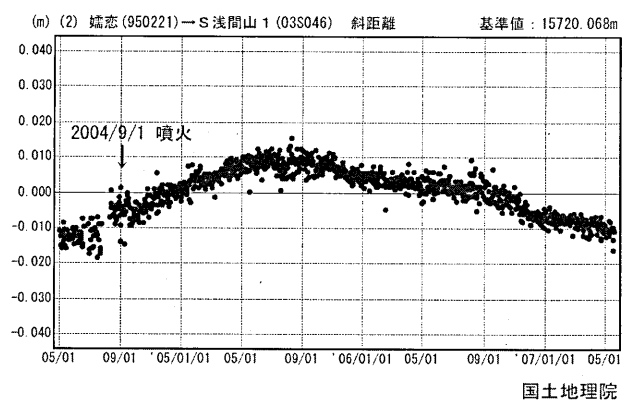
基線変化グラフ（最近の変動）

期間：2004/05/01～2007/05/19 JST



基線変化グラフ（最近の変動）

期間：2004/05/01～2007/05/19 JST



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第 1 図 (c) 基線変化グラフ（嬬恋→東部、嬬恋→S 浅間山） 2004 年 5 月～2007 年 5 月

Fig. 1 (c) Distance change time series plots of baseline 950221-950268 and 950221-03S046 during May 2004 to May 2007.